

朝日新聞

2019年8月31日

朝刊

リクナビと企業 全容公表を

NPO法人代表 五十川 進 (大阪府 70)

と、組織全体の責任」と謝罪した。学生の売り手市場が続ぎ、企業側の採用

大学のキャリアセンター職員として、学生のキャリア支援に長年関わってきた。定年後、若者・学生支援の活動をしている。就活生の多くは企業に気に入られようと必死で、従順で、おとなしく弱い立場だ。

就活情報サイト「リクナビ」を運営するリクルートキャリアが、就活生の閲覧履歴をもとに内定辞退率を予測し、本人に十分説明しないまま企業に売っていた。政府の個人情報保護委員会が改善を勧告し、小林大三社長は「学生の心情に対する配慮不足

課は、社員らの個人情報も全て把握している。当然、個人情報保護法などの関連法規に精通し、コンプライアンスのプロであるはずだ。個人情報を一社1年あたり400万〜500万円で買ったことに驚く。

リクナビ側と企業側は、当該企業名、個人情報取得・利用の意図、取得金額など事実の全容を公表すべきだ。学生はそんな企業を忌避する権利と自由がある。

担当者にニーズがあるのだから、企業側にも問題がある。新卒採用を担当する人事課は、社員らの個人情報も全て把握している。当然、個人情報保護法などの関連法規に精通し、コンプライアンスのプロであるはずだ。個人情報を一社1年あたり400万〜500万円で買ったことに驚く。



「み屋敷」？ なに、外交に忙しい？ 果があるのさ！

山田 紳